

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成9年度～		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	07 病院事業
	事務事業名	07 訪問看護事業	
	根拠法令・例規等	介護保険法	
	問 担当課(室)	備前さつき苑事務部	
	合 職・氏名	主査 直原吉洋	
	先 電 話	0869-63-9300	
	このシート作成に要した時間	5.0 時間	

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	疾病・負傷により、居宅で継続して療養を受ける状態にある者で、主治医が訪問看護を必要と認めた者。また、介護保険の要支援・要介護認定を受けた者で、介護支援専門員が必要と認めた者。
目 的 (何のために)	在宅療養者の家庭における療養生活を支援する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	在宅療養者の心身の機能の維持回復を図る。

事業の実績			
	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	訪問看護事業	病状観察・看護技術・栄養・食事療養・レハリ実施相談指導、生活環境調整指導、連絡調整	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	直接事業費	千円	7,023	4,573	2,909
	必要人員	人員費	千円	3.02人	12,664	2.98人
	事業費	人件費		15,888	15,798	15,798
		費		20,461	18,707	18,707
		費		19,621	20,444	18,692
		支出金		66	17	15
		受益者負担				
		入金				
		市債				
	その他()					
	一般財源					
	受益者負担比率	%	0.3%	0.1%	0.1%	

結果指標	結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	結果指標量	説明	人	2,439	2,210	2,437
	対前年比		%	91.4%	90.6%	110.3%
	活動コスト		円	19,687,000	20,461,000	20,276,158
	単位当たりコスト			8,072	9,258	8,320

事業の成果						
1日あたりの訪問件数	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
		目標値(A)	9.1	9.0	9.3	9.0
		実績値(B)	9.7	9.1	9.9	到達目標値
		達成率(B/A)	106.59%	101.11%	106.45%	10.0
成果指標設定の考え方・式や説明						
意図とする成果の指標として、1日当たりの訪問件数をみる。 年間訪問件数 / 245日(年間事業日数)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		地域サービスの向上を図りながら、単位当たりコストの削減に努める。					

総合評価	
事業の目的・対象・手段は、法律あるいは主治医の指示で定められており、評価対象としては実訪問看護時間が妥当と思われる。より効率的なサービスの提供を目指し、ステーション内で検討することにより、一層の成果をあげることが可能と思われる。また、単位当たりのコストが増加傾向にあり、経費の節減に努めなければならない。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		地域サービスの向上を図りながら、単位当たりコストの削減に努める。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を留意しながら効果指標を評価

Check

Action